

令和7年度

学校だより 第1号



# 希 望

思いやりのある子ども  
自ら学ぶ子ども  
健康でたくましい子ども

小山城東小学校長 ○○ ○○

寒暖差の激しい今年の春模様でした。本校校庭の桜も、いつが咲き時かを慎重に吟味しながら、入学式当日には美しい花吹雪を描き、79名の新入生を迎えてくれました。

本校の教職員にも、20名の新たなメンバーが加わりました。保護者の皆様、地域の皆様に、御協力と御支援をいただきながら一丸となって、充実した教育活動の展開を目指して参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。

令和7年度の教育目標は以下のとおりです。



思いやりのある子ども  
自ら学ぶ子ども  
健康でたくましい子ども



合い言葉 ～やさしく かしく たくましく～

本校の全ての教育活動のよりどころとなるのが学校教育目標です。小山城東小学校の全教育活動を通じて、本校児童にどのような力を身に付けさせていくのかを表しています。知・徳・体の3つの観点を踏まえ、バランスよく人格の形成を目指します。とくに3つの心を育てる意識を高く持ち、発達段階を考慮しながら、児童一人一人の成長を支援して参ります。

## 令和7年度のスローガン ～協働・融合・Tryal & Error

今年も本校の校長として「あなたが大切」を体現して参ります。私にとってのあなたは教職員・児童・保護者・地域の皆様です。

「教育は人なり」という言葉があります。児童の健やかな成長の為に本校教職員はかけがえのない人財です。その貴重な人財が、今年度は大きく入れ替わりました。これまでの本校の伝統や良さを理解し合い伝えるために……また、新たな教職員の良さを本校の強みとして生かすために不可欠な要素を今年度のスローガンに込めました。

始業式当日の朝、新しい学年の新しい学級が書かれた大きな名簿を不安そうにじっと見つめ、自分の名前を見つけた時の喜びを全身で表現する子どもたちの素直な姿に、力をもらいました。下校の際「新しいクラスもいいクラスにできそうな予感がします。」という子どもの声にもエネルギーがもらえました。

期待と不安が入り交じる新学期のスタートは、不安より期待の方が大きいということ子どもたちの姿から改めて確認させてもらっています。

# 令和7年度教職員の紹介



## 始業式

4月8日 静かだった校舎に児童の笑顔と元気な声  
が戻り、凜とした空気感の中で始業式を行いました。  
いよいよ…始まる喜びが胸いっぱいに広がりました。

「今年も3つの心を大事に育てましょう。3つの心がふくらむと、感謝する心も自然と大きくなるのです。」という話に始まり、3つの心を生かす場面を具体的に確認しました。そして、「今年も『今よりいい自分になる』ことを一人一人目指しながら、人との関わりを増やして、みんなでそれぞれの新しいクラスを素敵なクラスにしていきましょう。」と伝えました。

最後のイラストを見せながら、「担任の先生が木です。その木の下で、一人一人がのびのびと互いの良さに気づきながら生活できるようにしていきましょう」と話しました。

今年度の新たな取り組みとして、全学年学級編制の実施と新入生の仮学級でのスタートは、大きな混乱を招くことなく、実現できています。

保護者の皆様の御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

